

令和5年度 第1回 上山市いじめ問題専門委員会 要旨

日時 令和5年8月8日（火）午後1時30分～

場所 上山市役所 401会議室

1 開会

2 上山市教育委員会あいさつ

3 自己紹介（各委員より）

4 委員長・副委員長の選出・承認

5 報告・協議（座長 委員長）

（1）令和4年度のいじめに関する取組及び調査結果について

・別紙参照（重大事態に関する部分は不開示）

【質疑応答等】

●いじめチェックシートは、令和4年12月頃から実施しているのか。

【回答】1回目はⅠ期調査を受けて7月に点検を促し、12月はⅡ期調査を受けての点検になる。年2回。

（2）令和5年度取組について

・別紙参照

【質疑応答等】

●SOSの出し方研修会で今年度すでに行われたものはあるか。

【回答】上山小学校で実施した。一定の効果は出ていると思う。

【回答】いじめを発見するために、アンケートの他に生徒の相談のための研修会、心のノート、Q-U、不登校調査がある。不登校の理由を学校全体で共有するなど、いじめの観点からのアプローチも行っている。

●問題行動は、いじめや不登校も含めてという考え方でいいのか。

【回答】問題行動は、いじめ、不登校、反社会的行為、非社会的行為等を総合的に調査。学校の中で一番の核となるのが生徒指導主事になる。

●そうすると、学校だけの問題ではなくなる。家庭、地域を含めて対応していかないと問題の解決に向かわないのではないか。

【回答】問題が複雑化、多岐にわたり、学校と保護者、児童生徒では解決に至らない状況にあるので、家庭の養育に起因するものは子ども子育て課の協力、警察の生活安全課との連携、児童相談所、健康推進課、医療機

関等から、助言や情報をいただきながら、学校だけにならないようなコーディネートを進めていく。

- 相談窓口を多岐にわたって作っておくということか。

【回答】学校だけではいじめの対応はできない。民生委員とか青少年育成会議の場でいじめの状況を説明して、気づいたことを知らせてもらうように依頼している。

- 保護者アンケートとチェックリストの配付、回収の状況がどうなのか。従前の教職員用チェックリストと別に学校から報告があると認識しているが、教職員用チェックリストはどのように実施されているのか。学校のチェックリストは誰がどのように報告しているのか。

【回答】児童生徒へのアンケート調査の際、保護者にもアンケートを配る。その資料としてチェックシートがある。チェックリストは回収しない。教職員については市教委への提出は求めない。適宜活用。

- 各学校でどう活用しているかは学校に聞かないとわからない。いじめ対応に関わるシートとの関わりはどうなっているのか。

【回答】このチェックシートは、いじめ対策組織で集約し氏名が挙がってくる。個人名で把握。組織化を図るためのもの。

- 各学校の対応に、これらのチェックシートが反映されているのか。確認したい。

【回答】各校の組織的対応について、今日の学校訪問で確認していただきたい。

- 日常的な教育活動をどう変えていくのか。問題の対応だけでなく。

【回答】事後対応、いじめ発生後の対応の話が中心になった。授業の中で、活躍したり協同的に学んだり、安心できる居場所、学級づくりを進めていくことが第一歩。

- 学校への指導主事の支援が大切。

(3) その他

- ・事務局より第三者委員会について報告（個別事案のため記録不開示）

6 連絡

- ・事務局より今後の予定、本日の予定を説明

7 巡回指導

- ・各校に移動して、巡回指導（別紙次第の通り）

8 閉会（各校にて）